

OJB News

JAPAN PROFESSIONAL BASEBALL

© 水島新司
全国野球振興会
イメージキャラクター
「9ちゃん」



公益社団法人全国野球振興会
[日本プロ野球OBクラブ]

vol.56 2013 Winter



公益社団法人全国野球振興会 理事長

東京大学大学院教授 理学博士

石井直方 × 森 徹

Naokata Ishii

Toru Mori

スペシャル対談 第4弾

科学的トレーニングの 可能性とは！

球春到来…野球振興の季節のはじまり

2013年がスタートして早1カ月あまり、プロ野球界はキャンプに突入、そして開幕へ向けて始動している時期かと思えます。「球春到来」の文字は、いつの時代も胸を躍らせるものがあります。そして、今春は4年ぶりのワールド・ベースボール・クラシック(WBC)の話題も加わり、野球に注がれる目がさらに多くなることでしょう。日本の野球のレベルがいかに高いかということ過去の大会が物語りました。と同時に、子どもたちに「世界の舞台」という大きな夢ができたことも事実です。

その夢こそが、日本の野球界がプロ・アマ一体になって野球のレベルアップを図る大きな目標になっているものと確信しています。高校野球界も元プロ選手指導の条件を緩和することを前向きに検討を始めました。プロ側も学生野球が教育の一環であるというその精神を十分に理解しながら事にあたらなければなりません。当振興会では、長年にわたって日本高等学校野球連盟の要請に基づいて指導会も催しており、野球指導者を対象とした講習会、全日本野球会議への参画など、プロ野球で培ってきた経験と知識を伝道する活動を地道に行っ

てきています。こうした活動をさらに広めていくとともに、各地域においても地元に着した活動を活性化していくことが求められています。

その要請に十分に答えられるために、当振興会は「野球指導者養成・認定制度」を推進し、長年にわたり会員間で指導力向上の努力を積み重ねてきています。近年、野球指導者の知識は深まり、抱える悩み、疑問も多岐にわたってきました。指導対象も老若男女と広がってきています。「過去の経験則」だけでは十分な指導とはいえず、プロ野球OBもより一層勉強してニーズに応えられるよう指導力の向上を図っていききたい、その土台作りこそが当振興会が目指すところです。そして、プロ野球の振興と発展、並びにプロ・アマともに野球力の向上に欠かせない指導者作りを推進し、ひいては人材バンクの機能を備えていく方針です。正会員諸氏には、公益の増進に資する組織の一員として、野球指導のプロ集団として、野球界の縁の下の力持ちの気概で一層のレベルアップに尽力されることを期待します。また、ご支援をいただく賛助会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

Topics 01 平成24年度第4回理事会 活動概況報告

公益法人活動概況報告

【平成24年度第4回理事会】 開催日:平成24年12月7日(金)

去る12月7日に開かれた理事会において右記のとおり承認されました。本年度の事業計画及び収支予算の変更では、当初の予算を上方修正することが承認された他、全国アマチュア野球指導者講習会の会場数を縮小し、的をしぼった動員活動に努めることが報告されました。

また、来年度の事業計画及び収支予算の立案については、野球事業推進委員会及び財務委員会で原案を作成し、来年3月の理事会に提出することを確認しています。(各委員会の編成は別表参照)

議決事項

- ① 平成24年度事業計画及び収支予算変更に関する件
⇒ 原案のとおり承認
- ② 平成25年度事業計画及び収支予算に関する件
⇒ 計画及び予算立案までの各機関における協議スケジュール承認
- ③ 諸規程の変更に関する件
⇒ 原案のとおり承認
(会員規則/会員の報酬及び旅費規程/理事の職務権限規程別表/役員旅費規程/都道府県代表幹事会運営規則/事務局運営規則/印章管理規程/職員就業規則)
- ④ (業務執行理事の)業務執行状況報告
(各種事業報告/都道府県幹事就任報告/正会員管理/他)

平成25年度事業計画&収支予算成立までのフローチャート



※公益法人移行に伴い、事業計画及び収支予算案の承認は理事会決議のみで成立します(総会決議不要)。したがって、これまで年2回開催されてきた定例総会は、本年度から事業報告及び収支報告を決議する年1回(毎年6月)のみの開催となります。

公益社団法人全国野球振興会の各機関

《専門委員会》

コンプライアンス委員会	〈専務理事〉横山 健一郎 〈理事〉池田 哲雄、小池 唯夫、坂巻 豊、玉利 齊
財務委員会	〈副理事長〉清覚 秀雄 〈専務理事〉横山 健一郎 〈理事〉高津 義信、高村 義明、村尾 忠孝
野球事業推進委員会	〈副理事長〉三浦 政基 〈常務理事〉木村 竹志、醍醐 猛男 〈理事〉八木澤 荘六 〈I認定普及委員長〉井坂 興 〈II選考委員長〉中塚 政幸

《野球事業推進委員会》

野球教室プロジェクト (全国少年少女野球教室他)	池谷公二郎、小川 亨、駒田 徳広、鈴木 健、松本 匡史
指導者講習会プロジェクト (全国アマチュア指導者講習会他)	片平 晋作、矢作 公一
指導者養成認定プロジェクト (指導者養成・認定制度事業)	岡 義朗、佐藤 洋、仁志 敏久、松沼 博久
社会貢献プロジェクト (災害支援・社会福祉活動)	片平 晋作、佐藤 洋、森 宝生
広報・企画プロジェクト (広報活動)	矢作 公一

都道府県代表幹事をサポートする「幹事」を新設しました。

代表幹事をサポートする役目として新たに「幹事」を置くことが理事会において決議され、右記の方々が就任されました。今後他の都道府県においても随時就任していく予定です。

【幹事(代表幹事補佐)】

都道府県	氏名	備考
大分	神田 大輔	元南海
宮崎	本村 信吾	元ダイエー
長崎	平川 洋幸	元大洋
熊本	松崎 秀昭	元ダイエー

2012年度の「全国アマチュア野球指導者講習会」が、12月からスタートし、2013年の春にかけて、右表の4会場にて開催を予定しています。

《2013.1.18現在》 ※未開催分の講師は変更になる場合がございます。

同講習会は、地区ごとの実施により、地域との交流を図りながら各県への巡回指導が可能であり、各県におけるアマチュア野球関連団体との連携強化を推進し、プロ・アマ一体となった技術水準の向上に寄与する事業です。

プロならではの知識と経験をもってアマチュア野球で指導される方々を対象に、後進の指導に関するスキルアップに当振興会の会員であるプロ野球出身者は、積極的に取り組んでいます。

お近くの野球指導者および指導者を目指している方々へ、参加のお声掛けをよろしくお願いいたします。



No.	地区	開催地	開催日	講師
1	北海道	札幌市 北海道日本ハムファイターズ 室内練習場	2013年2月10日(日) 9:30~14:40	投手:西崎 幸広 捕手:定詰 雅彦 守備:屋鋪 要 打撃:駒田 徳広 ナビゲーター:佐藤 洋
2	関東	神奈川県横須賀市 横浜DeNAベイスターズ 屋内練習場	2012年12月16日(日) 10:00~15:10	投手:齊藤 明雄 捕手:杉山 直樹 守備:仁志 敏久 打撃:片平 晋作 ナビゲーター:佐藤 洋
3	東海	愛知県東海市 JR東海硬式野球部 室内練習場	2013年1月26日(土) 9:30~14:20	投手:三沢 淳 内藤 尚行 捕手:若菜 嘉晴 守備:高橋 雅裕 打撃:田尾 安志 ナビゲーター:佐藤 洋
4	中四国	広島県広島市 MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島 ブルペン	2013年2月24日(日) 10:00~15:10	投手:外木場 義郎 捕手:片岡 新之介 守備:岡 義朗 打撃:未定 ナビゲーター:佐藤 洋

同講習会は直接、高校生に指導できる唯一の事業であり、高野連との協力体制を深めるためにも、重要な講習会です。2012年12月までに行われた会場について、下記表にて報告します。また、2013年2月には兵庫県にて2会場を予定しています。

主催：各都道府県高等学校野球連盟

協力：公益財団法人日本高等学校野球連盟、一般社団法人日本野球機構、公益社団法人全国野球振興会（日本プロ野球OBクラブ）

派遣講師：公益社団法人全国野球振興会所属会員であり、一般社団法人日本野球機構に提出した「2012年度 登録講師」の中から選抜

受講対象：各都道府県日本高等学校野球連盟加盟校の野球部員、引率責任者

☆：チーフ

都道府県	開催日	会場	テーマ	投手	捕手	内野手	外野手
宮城県	11月10日(土) ~11日(日)	東北福祉大学 野球場	内野手の守備と打撃			佐藤 洋	未次 利光☆
						福井 敬治	
						澤井 良輔	
茨城県	12月2日(日)	水戸市民球場	バッテリー育成 打撃	野村 収	島野 雅巨☆		
				大川 章	原 俊介		
富山県	12月16日(日)	魚津桃山運動公園 屋内グラウンド	バッテリー育成	西崎 幸広	元田 昌義☆		
				川藤 龍之輔	定詰 雅彦		
岐阜県	11月11日(日)	岐阜メモリアルセンター 長良川球場	バッテリー育成	川崎 憲次郎	元田 昌義☆		
				三井 浩二	芦沢 真矢		
兵庫県	11月10日(土)	明石公園第一野球場	打撃、走塁			南淵 時高	高橋 智
	11月23日(金・祝)	赤穂城南緑地公園野球場	守備、走塁			村上 眞一	栗橋 茂☆
						永尾 泰憲☆	庄司 智久
				銚子 利夫	南牟礼 豊藏		
島根県	11月11日(日)	島根県立出雲商業高等学校 野球場	投手に特化した指導	桑田 真澄			
宮崎県	12月15日(土)	生目の杜「はんびドーム」アリーナ	打撃			吉永 幸一郎	片岡 光宏
							島田 誠☆
							山本 和範

森 徹 × 石井 直方

公益社団法人
全国野球振興会 理事長

東京大学大学院教授
理学博士

継続は力なり、 自分に合ったトレーニングで 強い体をつくる。



科学的トレーニングの可能性とは

森理事長 (以下 森) 石井先生は、ボディビルダーとして大変な実績をお持ちですが、今日はそれとは別にスポーツ全般に関わる「ウエイトトレーニング」の研究 (著書も多数) の一端をお話していきたいと思います。

私たちが現役の頃は、科学的トレーニングはほとんど重視されておらず、「ウエイトトレーニング」という言葉すら使われていませんでした。当時のプロ野球界ではいわゆる“しごき”のような、追い込む練習が主流でしたね。

石井教授 (以下 石井) 運動生理学やトレーニング科学の分野では、最近までそういった根性論主体の練習方法は非科学的で筋力はつかないという見方がされてきました。でもここ2、3年で、そのような練習方法でも筋肉が強くなるのが新たにわかってきたんです。

森: そうなんですか。当時は、野球選手はウエイトをやると筋肉が硬くなるからダメ、水泳も体を冷やすからダメで、練習ではとにかく「走れ走れ」としごかれていましたよ。

石井: 当時の追い込む練習は、例えば王貞治さんや長嶋茂雄さんのような、もともと強靱な肉体を持っていてどんな練習にもついていける人には効果があったのだと思います。でも、実際にはついていけず潰れた人も多かったのではないのでしょうか。

森: 私はウエイトも水泳も必要だと思ったので個人的にやっていました。よく錆びついた鉄アレイを使って筋トレしていましたね。私以外でも張本勲くんなんかは筋力トレーニングの重要性に早くから目を向けていた選手ですね。一生懸命トレーニングしていましたよ。彼のパワーは筋トレで培われた部分も多いと思います。独特で個性的なバッティングですがあれは鍛えていなければできません。

石井: 張本さんの足腰の筋量はすごかったですね。しかも、走るのも速い。それはトレーニングのおかげかもしれません。

森: 今ではほとんどのプロ選手が科学的トレーニングを取り入れていて、ウエイトや水泳をやる選手も少なくないようです。

石井: 現代の科学的トレーニングでは、追い込む

練習だったら潰れてしまう選手でも上手に基礎的な体力や筋力をつけることができるので、才能の芽を摘むことが少なくなります。また、怪我を予防すること、怪我をしてもリハビリをして元に戻すことにおいても、科学的トレーニングは欠かせない要素だと考えられます。

森: それでも、まだ野球界には封建的なところが残っていて、休ませないで練習をさせるようなことも珍しくありません。休養も練習のうちで、同じくらい大切だと思うのですが。

石井: 野球の場合は、筋トレの目的が筋肉を強くすることではなく、質のよい練習をしてパフォーマンスにつなげることです。まだ体が回復しておらず、動作についていけない、筋肉が疲れて関節の動きもおぼつかないような状態で練習やトレーニングを繰り返すと、悪い動作が身につく技術も下がってしまいますね。

森: 体力的に三動一休、四動一休のどこまで持つかは、人によっても違いますね。中には五動でも耐えられる人もいます。25人選手がいて同じということはありません。

石井: 休むことなく厳しい練習をやって上達できるのは、それでも練習が身につくだけの強靱な筋肉や関節を持っている人だけです。本来は、コンディションがよく体をしっかりコントロールできる状態を作って練習すべきなので、そのためにも休養は非常に大切ですね。

年代に合ったトレーニング方法を

森: OBクラブの会員には指導者も多いのですが、どのくらいの年齢からどんなトレーニングを採り入れたらいいのか悩むこともあるようです。大きく分けて幼、小、中、高以上というように考えた場合、練習内容と方向性は多少違うと思います。いわゆる「ゴールデンエイジ」(9歳～12歳前後)を目安にしてその前後の考え方はどうでしょうか。

石井: ゴールデンエイジというのは神経系の発達がもっとも盛んな時期で、その時期に習得した運動技術は吸収も定着もしやすいといわれています。筋力やスタミナが増えるのはもう少し後で、だいたい小学校高学年から中学2年くらいまでの、骨が

伸びて体が大きくなる時期です。ただ、その時期に重たいものを担ぐような運動をやりすぎると背骨が圧縮され、骨の成長を妨げてしまいます。足腰の筋力を鍛えるのであれば、自重(自分の体の重さを使ったトレーニング)で行うスクワット(腰割り)やランジ(投球動作のような体勢で膝を深く曲げる屈伸運動)などがいいでしょう。上半身は腕立て伏せ、または鉄棒の懸垂など。そして十分なストレッチ。器具を使ったトレーニングは、これ以上身長が伸びないという段階、つまり高校生になってからでいいと思います。

森: なるほど。レジスタンストレーニングは高校からで十分。その前に十分に自重で回数等によって追い込むトレーニングをしておくのが良いと思います。石井先生が推奨する「スロトレ」(屈伸等の一つの動作を極力ゆっくり行うトレーニング。太極拳をイメージすればよい。)も自重トレーニングですが、ゆっくり動作を行うとかなりきついですね。

石井: 重いものを持つトレーニングがきつくて負荷が軽ければ楽というのは、実は大きな誤解なんです。重い負荷で少ない回数行うよりも、軽い負荷で回数をこなしながらゆっくり行うほうが大変です。子どもたちを指導するときには、極端に重い負荷でやらせるよりも、筋肉の限界まで回数を重ねて、ちょっと休ませてからまたやらせるようにするとよいと思います。昔風の“しごき”に少し似ていますね。この方法が筋肉の成長にプラスになるので、“しごき”も効果的ということなんです。この方法は「もう一歩のところまで頑張る」という精神的な成長にもつながりますね。

森: 中には、重い負荷でギリギリの状態でする選手もいます。それは、筋肉を強くするために最も効率的なわけではない、と。

石井: 筋トレの効果を上げるには、ある程度強い負荷と回数の二つの要素が同時に必要になります。100%の力で1回と、80%の力で8回では、後者のほうがトレーニング量が多くなります。科学的には「80%の力で8回」が最も効率よく筋力をつけられるといわれています。60%でも構いませんが、その分回数が必要になります。

森: 野球選手も引退してハードな練習をやらなくなると、太ったり筋力が落ちたりします。指導する側

としてコンディションを保つことも大事だと思いますが、引退後にどんなトレーニングをすればいいか悩んでいる人も多いようです。

石井：太ることに限っては、現役時代と同じように食べてしまうことが要因でもありますね。カロリーコントロールを行うこと、運動量を急激に落とさないことが必要になると思います。

森：現役当時ほどトレーニングできなくても、ある程度の刺激を与えておけば、なんとか維持はできますよね。

石井：それはできると思いますね。新しい研究では、筋肉が動くと筋肉から出てくる物質によって脂肪の性質が変わることがわかっています。ある程度筋肉を使って刺激しておけば、脂肪も蓄積しにくくなるということです。ただ、筋肉をやみくもに動かせばいいということではなく、大きな筋肉を動かすことがポイントです。

森：コンスタントに大きな筋肉を刺激してあげるといいわけですね。大きな筋肉というと、大腿四頭筋（太もも）、二頭筋、大臀筋（尻の筋肉）、腹筋、背筋、広背筋（闊背筋）などでしょう。また、上半身の運動に力を入れるより体幹や下半身の方が効果的なのでしょう。

石井：そうですね。アスリート出身者は中途半端に運動するのが気持ち悪いという人もいて、モチベーションを維持するのも大変だと思いますが、現役時代の10分の1でも続けておくとだいぶ違うと思います。

大切なのは、競技に活かすこと

森：私は、ウエイトトレーニングの効果をスポーツの結果に結びつけることが大事だと思っています。体づくりの知識も必要ですが、それを競技に結びつける知識も必要ですね。

石井：筋トレの種目は「この筋肉を鍛えるためにどのような動きがベストか」という視点で作られているので、人間の体にとって自然な動作ではないという認識がないといけませんね。スポーツ競技の場合、鍛えた筋肉をより効率のよい自然な動きに結びつけるプロセスがなければ、筋トレの意味はありません。かつてトレーニングがダメだと言われたの

は、そのプロセスが欠落していたからではないかと思われま。

森：ウエイトは部分的なものです、それが全身の動きと調和できたときに初めて効果を発揮するということですね。トレーニングの中でもフリーウエイト（固定マシン以外の器具使用）が見直されているのは、全身の動きと調和しやすいからでしょうか。マシントレーニングでは調和しにくいように思えます。（マシンは逆にマイナス効果を出す場合がある。動きとの関連性が無いため。）

石井：マシンは一所だけの筋肉を効率よく鍛えるために作られたものです。例えばチェストプレスのマシンは大胸筋だけを鍛えるようにできていますが、実際に押し動作をするときは肩の関節も安定させる必要があります。しかし、マシンばかりやっていると、肩の関節を安定させなくても大胸筋だけでプレスできるようになってしまう。これが、動きの悪化や怪我の原因になることがあるのです。それを回避するためにも、フリーウエイトが好ましいと私は考えています。

森：バッティングの練習に使う「マスコットバット」のようなアイテムは効果的でしょうか。

石井：マスコットバットと通常のバットでは振るフォームが違いますから、バッティングそのものの練習として捉えないほうがいいですね。マスコットバットばかり振っているとタイミングや感覚がズれてくるので、技術は下がってしまいます。ただ、「関節を安定させる筋肉を鍛える」という目的をしっかりと認識して使えば、非常にいいアイテムだと思います。どんな練習も、目的を認識することが大切ですね。

森：野球ではシーズンを通して筋力を落とさずにコンディションを整える必要がありますが、ワンシーズン耐えられる体をつくるためには、どんなことに気をつけるといいでしょうか。

石井：常に体づくりを欠かさずにやることですね。メジャーリーグでは、シーズン中でも野手は週3回、投手は週2回、試合後に30分のウエイトトレーニングを行うそうです。それによって、160試合以上、全米を点々としながらこなせるだけの体力が身につくわけですね。

森：シーズン中はあまりハードにやると本番で力が出ないですから、筋肉を維持する程度でいいでしょうね。

石井：そうですね。30分集中的にやれば週2回でもコンディションの維持はできます。疲労を残さないメニューを作ることが大事ですね。

森：そういえば、先日韓国のトレーニング事情を聞く機会があったのですが、韓国では専門家が高校に出向いて基本的なトレーニングを教えているそうなんです。WBCを見てわかるように、日本の技術力は世界に誇れるものですが、韓国のパワーにも驚かされました。高校生の頃から積極的にトレーニングを採り入れているからでしょう。そこには、今後我々が取り組むべき課題が見えますね。野球に限らず他のスポーツも含めて必要な部分を採り入れていく必要があると思います。（プロ・アマを問わず）それぞれの道のプロに学ぶことも良いでしょう。

石井：アメリカでも、高校生になるとスポーツをしない学生でも当たり前のようにウエイトをやります。学校には指導するコーチもいて環境も整っているんで、自然にトレーニングに入っていけるんですね。日本もここ数十年で徐々に根付いてきていますが、スポーツ選手から介護が必要な方までサポートできる幅広いマンパワーがもっと必要だと思います。

森：例えば中高年の方たちへのアドバイスでは、運動の目安としては最初のころは無理のない重さで無理のない回数、15～20回位。慣れてくると少しずつ増やすと良い（過度にならないように）。また、大切なのは柔軟性（例えば股関節、体幹）。これにも力を注ぐ。そして休養も忘れてはいけません。今回の対談の結論として①中高年老人にとってのトレーニングの重要性。②アスリートにとっての筋肉トレーニングとパフォーマンスの関連性の大切さ。③少年期は自重トレーニングが効果があるということが挙げられます。国が一体となって、国民の健康、アスリートのレベルアップ、スポーツ界の底上げ、それを補助する指導力の向上に注力することが必要だと痛感しています。あらゆる組織の垣根を取り除いて交流を盛んにし、子どもたちがいいものを採り入れる環境が早く整えばいいですね。そのために、野球界とトレーニング界が力を合わせることも必要です。石井先生のお力もぜひ拝借したいと思います。



森 徹 もり とおる
公益社団法人
全国野球振興会 理事長

1935年11月3日生まれ。旧満州出身（戦後引き揚げ）。早大学院、早大政治経済学部卒。長距離砲として神宮で活躍。卒業後中日に入団し、新人ながら23本塁打を放つ。2年目は31本塁打、87打点で2冠王に輝く。62年に大洋に移籍し、66年からは東京（現千葉ロッテ）。68年限りで引退した。本塁打王1回、打点王1回、ベストナイン3回、オールスター出場5回。2001年より社団法人全国野球振興会の理事となり、2011年5月に理事長に選任される。財団法人日本プロスポーツ協会の理事も務める。



石井 直方 いしい なおかた
東京大学大学院教授
理学博士

1955年、東京都出身。東京大学理学部卒業、同大学院博士課程修了。東京大学大学院教授（運動生理学、トレーニング科学）、理学博士。力学的環境に対する骨格筋の適応のメカニズム、およびその応用としてのレジスタンストレーニングの方法論、健康や老化防止などについて研究している。著書に『スロトレ』（高橋書店）、『一生太らない体の作り方』などがある。ボディビル・ミスター日本優勝（81・83年）、IFBB ミスターアジア優勝（82年）、NABBA 世界選手権3位（81年）

「やりたいこと・できること・求められること」とは…

平成7年1月4日、私の第二の人生がスタートしました。慣れないビジネスバッグを片手に持ち、オフィスビルのエレベーターに乗り込む。野球とは違った緊張感を今も覚えています。「ソニー生命保険株式会社・京都支社・第4営業所」が私の新たな職場です。早朝から営業に出かけ深夜に帰社する日々。それに加え研修や資格試験取得を義務付けられ入社後2年間は無休で働きました。ただ「2年間は休みなよ!」と上司に言われたことを実行したに過ぎませんが、今となっては“あの2年間”が非常に大切な時間だったと実感しています。その後は順調に業績を伸ばし、平成14年、念願叶って小さな会社を設立し独立しました。昨年「創立10周年記念イベント」を開催させて頂き200名程の方々にご参加頂きました。本当にお客様に“感謝”しています。この間、縁あってコンサルティング会社、接骨院の開業、NPO法人を立ち上げ、多くのスタッフと共に悪戦苦闘しながら毎日忙しく過ごしています。どの会社も決して盤石とは言えませんが徐々に“大きな幹”となるよう努めています。今後は、各々の事業を融合させ、社会に貢献することで会社が発展するような事業への取り組み・・・「社会企業家」としての活動を進めていきたいと思っています。

「やりたいこと・できること・求められること」尊敬する社長様から頂いた教訓です。新たな事にチャレンジする時、必ず自問します。「自

分はこの事業を本当にやりたいのか?他人に頼らず自分で出来ることなのか?この事業は世の中から必要(需要があるのか)とされているのか?」を判断材料として参考にしています。

2009年秋から「エコ・ボール」というボランティア活動も始めました。高校や大学で古くなり糸の切れた硬式球を預かり、障がい者の方々が丁寧に修理し、再び1球50円で買い取って頂く事業です。工賃は当然、障がい者の方々への報酬となります。障がい者の方々の就労問題は深刻であり働く場が限られています。微力ながら、少しでも力になればと思っています。すでに京都では20校の協力を得て、4つの障がい者施設で実施されています。この活動が全国に広がることを切に願っています。

PROFILE

1965年5月31日生まれ(47歳)。京都府出身。投手。
東宇治高校→横浜大洋ホエールズ→阪神タイガース



新たな人生に チャレンジ!

全国のプロ野球OBが、セカンドキャリア支援で新たな道を選択しています。その一つが「教職への道」であり、高校教員を目指し働きながら「教職課程」を学び教壇に立つことです。

新たに高校野球監督への道を一步一步拓いていく2名の方をご紹介します。

星槎大学 共生科学部共生科学科 / 入学決定者(2012)

日本プロ野球OBクラブ第3号

西川 雅人 (にしかわ まさと)

プロ野球の分野から教育界に風穴を!



通信教育で教育者を目指そうと考えたのは、プロ野球というスポーツを通じることができた多くの技術や貴重な経験などを高校生に伝えたい、社会に必要なものをしっかり若者に伝えたいと考えたからです。元プロ野球選手の私がしっかり勉強し教員免許を取得し、高校野球の監督になるというひとつの実績をつくるために頑張りたいと思います。応援してください。

PROFILE

兵庫県出身。大学最速 147 km/h のストレートでチームのエースに。
2008年オリックスバファローズにドラフト5位入団。
中継ぎ投手として活躍。2012年退団。投手。

日本プロ野球OBクラブ第4号

熊崎 清龍 (くまさき せいりゅう)

人一倍努力する大切さ、甲子園への道、再び!



小学生から様々なスポーツを習いその中で一番好きだったのが野球でした。クラブチームや中学はレベルが高く、体格の良い選手に負けたくなくて、人一倍練習を積み重ね高1でレギュラーに。そして甲子園2回出場。さらに高校JAPANでアメリカ遠征では良い経験を。今、教え子の一生懸命な姿を見て、甲子園に連れて行く夢を叶えるため高校教員を目指します。

PROFILE

少年野球指導に長年携わる。教え方には定評があり、礼儀指導にも力を入れている。高校では春・夏甲子園出場。高校JAPAN選抜、大学選手権準優勝。
公益社団法人全国野球振興会賛助会員。

お知らせ

昨年8月に実施しましたアンケート調査の折に、一部のOB会員の方から自営の飲食店情報をお寄せいただきました。いずれ、店舗情報が集まりましたら、冊子等で会員の皆様にご紹介したいと考えています。飲食店などの店舗を運営されている会員の方は、ぜひ事務局まで情報をお寄せください。(事務局)

公益社団法人 全国野球振興会（日本プロ野球OBクラブ）

OB会員へセカンド・キャリアのご提案

教職を取得して教育現場で、野球を教えよう！

多くの元プロ野球選手が、「高校球児に野球を教えたい」、「野球の素晴らしさ」と、「野球で培った社会生活における指導」を伝えていきたいと思っておられる方が増えております。

その元プロ野球選手の期待に応えるべく「働きながらも資格がとれる」「今からでもできる」「絶対なるんだ」を合言葉に、星槎大学は「公益社団法人全国野球振興会（日本プロ野球OBクラブ）」と共同事業契約を締結しております。

INFORMATION 1

◇高等学校卒業の方は・・・

Aルートが最適。

このルートは、大学卒業資格を志望する方、さらに教員免許資格を取得し教員を目指す方が多く志望するコースです。

◇大学を中退された方は・・・

B～Dルートが最適。

他大学に在籍した期間と取得された単位数によって学年編入が異なります。さらに教員免許資格を取得し教員を目指す方が多く志望しています。

◇大学を卒業された方は・・・

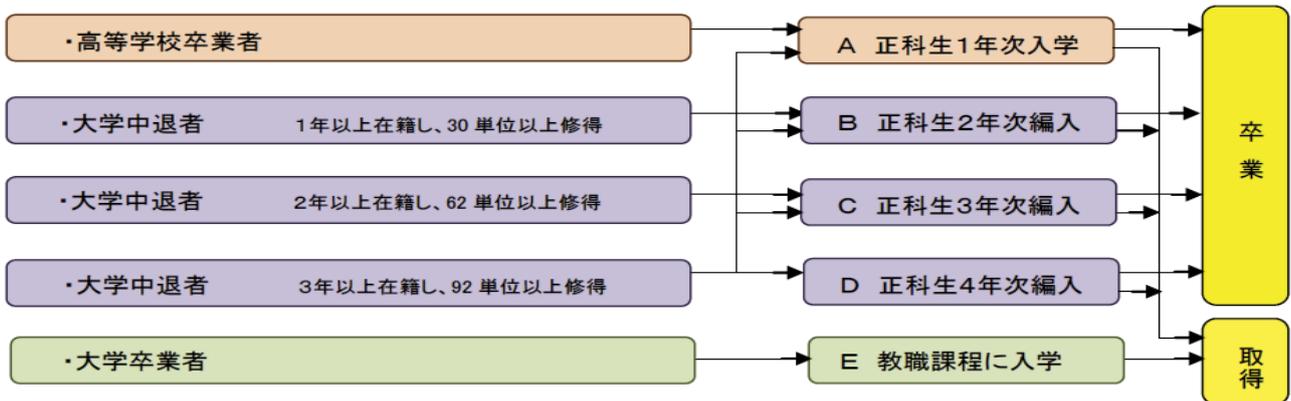
Eルートが最適。

このルートは、教員免許資格を取得し教員を目指す方が多く志望しています。

※取得できる教員免許状

◎高校教諭（公民）

○中学校教諭社会



INFORMATION 2

◇大学通信教育の授業方法

自宅学習/レポート（印刷教材による授業）、スクーリング（面接授業）、科目修得試験で評価、単位取得となります。

パターンは科目ごとに異なり次の3パターンになります。

- ①レポート提出 + 科目修得試験
- ②レポート提出 + 「スクーリング出席 + 修了試験」
- ③「スクーリング出席 + 修了試験」 + レポート提出

◇「卒業までの学費総額」と「教員免許修得費用」(例)

A	大学卒業〔約 110 万円〕	大卒と教員免許で〔約 125 万円〕
C	大学卒業〔約 55 万円〕	大卒と教員免許で〔約 95 万円〕
E	教員免許で〔約 45 万円〕	

- ①いずれも学費等の総額です。
- ②スクーリング費用を含む（自宅から会場までの宿泊費、交通費は個人負担）
- ③別途 公益社団法人全国野球振興会用特典（特別奨学金制度）があります。
- ④別途 教科書代がかかります。（1科目あたり1,000～2,000円前後）
- ⑤教職を志望される方は、教職課程登録料が別途必要になります。（高校・・・50,000円）



お問い合わせ ☎ 0120-82-2686
www.seisa.ac.jp / 0120-82-2686 検索 scp-info@seisa.ac.jp

野球指導者養成・認定制度事業の目指すもの

基礎資格「野球技術指導員」の制度がスタートして1年半が経過しました。現在、登録証の取得者は82名（2013年1月7日現在）。徐々に制度が拡がりつつあります。

今後この制度が目指すのは、登録者の活用（指導）機会の創出とレベルアップした上級資格制度の確立です。

野球事業推進委員会内に設置された「指導者養成認定プロジェクトチーム」において、制度の施策が協議されています。登録者活用機会の創出については、総合型地域スポーツクラブと連携した地域に根ざした活動を検討中。また、レベルアップした上級資格では、栄養学、トレーニング、指導者の役割、一貫性指導など、スポーツ指導者として共有すべき教養科目（共通講座）についての履修を必須とし、細かな課題の選

考に入っています。共通講座は来春頃開講できる見込みです。

引退後に指導機会が多いプロ野球退団者が、こうした制度を利用して研鑽に努めることが、野球界の競技力向上や底辺拡大によりよい効果をもたらします。プロアマ交流促進への動きが加速する昨今、本制度への期待感が高まっています。まずは、「野球技術指導員」資格取得のため、各地で開催される技術セミナーにふるってご参加ください。

野球技術指導員登録証

〈取得方法〉

必須課題：①技術セミナーの受講（6講座）
②レポートの提出 1講座600字以上

登録料：5,000円

■ 野球技術指導員登録者 2012年11月～2013年1月

	氏名	居住地	在籍球団
1	谷本 征一	三重県	中日
2	平川 洋幸	長崎県	横浜
3	橋本 大祐	兵庫県	阪神
4	仁志 敏久	神奈川県	巨人
5	松沼 博久	東京都	西武
6	若林 隆信	福岡県	広島
7	塩津 義雄	大分県	大毎
8	鈴木 健	東京都	西武
9	下田 充利	滋賀県	日本ハム
10	高木 宣宏	埼玉県	広島
11	秋葉 直樹	東京都	巨人
12	湧川 勉	静岡県	阪急

全国アマチュア野球指導者講習会（関東地区 2012.12.21）参加講師感想

仁志敏久（野球事業推進委員会・指導者養成認定プロジェクト委員）

現在のアマチュア野球指導者はよく勉強を積んでいるため、専門的・科学的用語を用いて質問される場合があります。その際、講師を務める私たちがその言葉の意味を知らないとの確に回答できません。

プロ野球出身者である私たちが講師を務める際、幅広い知識と経験を基にした説明を求められます。アマチュア指導者の求めに応えるには、正しい理論だけではなく、悪いことも数多く知り、指導に際して余談・広がりを持つことも大切だと感じるようになりました。

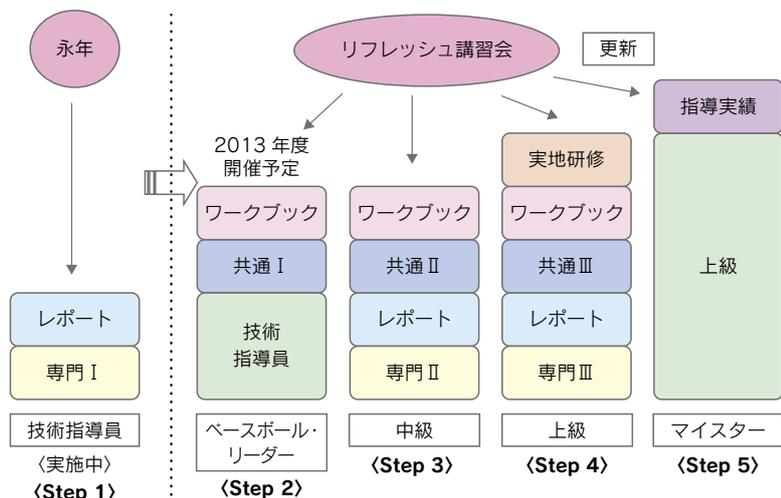
アマチュアとの交流が徐々に深まりつつある中で、私たちOB自身も研鑽に努めなくてはならないのだと思います。技術論のみならず、スポーツに取り組むにあたって共通したトレーニング論やメンタル、栄養学、地域スポーツとの関わり方など指導者としての資質向上に取り組むことで、私たちトップアスリートと言われる競技者が持つ豊かな経験と高い技術力を効果的にアマチュアに循環していけるものと思っています。

■ 技術セミナー「野球技術指導員」講座 [2012年度開催実績]

Ⅰ期 関東地区 (5/7・5/28)		Ⅱ期 九州地区 (7/21)		Ⅲ期 近畿地区 (10/7)		Ⅳ期 関東地区 (12/1・9)	
墨田区総合体育館		アクロス福岡		大阪国際交流センター		墨田区総合体育館	
走塁・バント	外野手編	投手編	外野手編	投手編	外野手編	投手編	外野手編
石毛宏典	屋鋪 要	三浦政基	二村忠美	山崎慎太郎	大熊忠義	松沼博久	岡 義朗
捕手編	内野手編	捕手編	走塁・バント	打撃編	走塁・バント	捕手編	走塁・バント
醍醐猛男	辻 彦彦	若菜嘉晴	島田 誠	長池徳士	藤瀬史朗	若菜嘉晴	岡 義朗
打撃編	投手編	内野手編	打撃編	内野手編	捕手編	内野手編	打撃編
中西 太	遠藤一彦	基 満男	山本和範	岡 義朗	元田昌義	本西厚博	片平晋作

※2013年2月中国地区/広島市内にて開催調整中

■ 制度の構想(案)



■ 共通講座《案》 「ベースボール・リーダー養成講座」

【課題】

《Ⅰ.テキスト購読＆ワークブックの提出》

=履修テーマ=

- 指導者の役割
- トレーニング論
- スポーツ指導者に必要な医学的知識
- スポーツと栄養
- 指導計画と安全管理
- ジュニア期のスポーツ

《Ⅱ.基調講演の聴講》

テーマに基づく専門家の講話聴講
(2講座を予定)



夢舞台・甲子園を目指すもう一つのOB物語

「マスターズ甲子園」に出場したプロ野球OBたちの「蘇る青春」

高校球児OB加盟校は約450校

本号がお手元に届く頃には、プロ野球界ではキャンプが始まり、一方ではセンバツの出場校がスポーツ紙の紙面を賑わしている頃でしょう。「球春到来」という文字が心を躍らせる…そんな季節となりました。「それは過去のこと」……と知っている方もいるかと思いますが、実はあの「甲子園」を目指して“現役”を続ける人たちが全国にいるのです。野球人の心に響くあの3文字「甲子園」。もう一つのOB物語をここにご紹介しましょう。

2004年に第1回大会が行われた「マスターズ甲子園」は、本年度で10回目の大会を目指して始動しています。この大会は、全国の高校野球OB/OGが、性別、世代、甲子園出場の有無、元プロ・アマなどのキャリアの壁を越えて出身校別に同窓会チームを結成し、全員共通の憧れであり、野球の原点でもあつ



た「甲子園球場」で白球を追いかける夢の舞台を目指そうとするものです。主催の全国高校野球OBクラブ連合に加盟する学校は、449校（2012年10月29日現在）、実に33都道府県に及びます。

大会は、甲子園大会（毎年11月）を目指して、16都府県で地方予選大会が開催され、予選から選出された代表・選抜校16校による8試合を2日間にわたり、球児の夢舞台・阪神甲子園球場で行います。

最低29名でベンチ登録、34歳以下が14名、35歳以上が15名という規程のほか、出場インングにも制限が設けられるなど、幅広い年齢層が出場できる配慮がこの大会の特徴。もちろん、試合球は硬式球。野球に打ち込んだ青春時代を思い出させる醍醐味がここにあります。



元プロも母校の選手として出場

この大会に出場し、選手宣誓もした桜井商業（現・奈良情報商）OBの駒田徳広氏（会員・元横浜）は、参加した感想をこう語ります。

「高校時代に甲子園に出たことがなかった悔しさや悲しさがありました。練習には1回しか参加できませんでしたが、みんな和気あいあいと試合に臨めました。プロとしてあの球場の土を何度も踏みましたが、今回出場してこれは別物だと思いました。公立校は、転勤による監督の交替もあるので、同窓会も年代の層ができていましたけど、甲子園を目指した思い出を共有して、皆が一つになれた感じがしましたね」

試合のほか、憧れの甲子園で「球友」「親子」「夫婦」の категорияでキャッチボールを経験できたり、開会式のプラカードでおなじみの市立西宮高校のOGが先導する入場行進、「栄冠は君に輝く」を合唱するフィナーレと、まさに青春甲子園の要素がプログラムに盛り込まれています。

第10回大会（2013年11月9、10日予定）の開催要項は既に発表され、節目の記念大会に相応しく、全国高校野球部OBトーナメントの東日本代表と西日本代表による決勝戦を行い、OBチームの日本一を決定することも予定されています。

このほど、同実行委員会より、当会会員の「元プロ野球選手」が母校のOB選手として出場した履歴のデータをいただきました（別表参照）。OB選手一覧を見て、懐かしさとともにライバル心が芽生えてきたら、まずは「マスターズ甲子園」のホームページへ！

母校の同窓メンバーに「オレたちも目指そう、甲子園を！」という声をかけてみようではありませんか。野球振興と普及、そして地域の活性化のために、プロ野球出身者だからできることがここにもある……その気概で積極的に参加しましょう！蘇る青春を謳歌するためにも。



●マスターズ甲子園

主催：全国高校野球OBクラブ連合
共催：朝日新聞社
主管：マスターズ甲子園2012実行委員会
後援：朝日放送、日刊スポーツ、兵庫県、西宮市、神戸大学他
特別協賛：アシックス、サントリー金麦

第9回大会 試合結果

■1日目(11月10日)

①高岡商業OB(富山代表) 5-1 川越OB(埼玉代表)
②県立広島工業OB(広島代表) 7-4 神戸国際大学附属OB(兵庫代表)
③奈良情報商業

桜井商業(奈良代表) 12-8 新居浜東OB(愛媛代表)
④鳴門OB(徳島代表) 14-5 明野(三重代表)

■2日目(11月11日)

①八代東OB(熊本代表) 11-5 立川OB(東京代表)
②境(島根代表) 9-6 甲陵(鹿児島代表)
③天王寺(大阪代表) 6-0 日大東北OB(福島代表)
④神奈川選抜OB(神奈川代表) 5-2 伝習館OB(福岡代表)

永遠の高校球児を目指したい方は… <http://www.masterskoshien.com/> で検索

■ 全国野球振興会会員の元プロ野球選手・マスターズ甲子園出場者（予選大会・本大会）

選手名	都道府県	出身高校名	代表出身球団	予選大会出場年	本大会出場年
伊藤 博康	福島	学法石川	巨人	2008	
古川 慎一	埼玉	春日部工業	ロッテ	2009~2012	
高柳 出巳	埼玉	春日部工業	近鉄	2011~2012	
井手 峻	東京	新宿	中日	2010	2010
佐野 元国	神奈川	横浜	巨人	2008~	
安西 健二	神奈川	横浜	巨人	2008	
村上 雅則	神奈川	法政第二	SFジャイアンツ	2008~	2010
渋井 敬一	神奈川	桐蔭学園	ヤクルト	2009~	
原 俊介	神奈川	東海大相模	巨人	2011~	
大石 滋昭	神奈川	南	近鉄	2011~	
斉藤 秀光	神奈川	横浜商大	横浜	2012	
干場 崇久	富山	高岡商業	ロッテ	2009	
高木 守道	岐阜	県立岐阜商業	中日	2008	
前原 博之	岐阜	県立岐阜商業	中日	2008	
奥田 敏輝	大阪	桜塚	阪神	2005	

選手名	都道府県	出身高校名	代表出身球団	予選大会出場年	本大会出場年
富田 勝	大阪	興国	中日	2005	
湯舟 敏郎	大阪	興国	阪神	2005	
高木 喬	大阪	三国丘	西鉄	2004~2012	
元田 昌義	奈良	御所実業	ダイエー	2012	
伊達 泰司	奈良	御所実業	ヤクルト	2012	
駒田 徳広	奈良	桜井商業	横浜	2012	2012
白石 静生	徳島	鳴門	阪急	2010~2012	2010・2012
住友 健人	徳島	鳴門	ヤクルト	2008~2012	2010・2012
平岡 政樹	徳島	徳島商業	巨人		
水野 雄仁	徳島	池田	巨人	2008	
大山 貴広	愛媛	大洲	ヤクルト		
今井 圭吾	愛媛	伊予	日本ハム		
右田 一彦	熊本	九州学院	ロッテ		2007
米村 和樹	熊本	熊本商大附	阪神	2005	

※マスターズ甲子園実行委員会事務局調べ

第19回ダイワハウス 全国少年少女野球教室 開催日が**5月12日(日)**に決定しました!!

<スケジュール>

- 2013年2月 全OB会員へ講師参加希望調査票送付
※是非おひとりでも多くのOBの方にご参加いただきたく思っています。講師としてご参加いただける方は、後日当会より送付いたします調査票のご提出をお願いいたします。
- 3月 参加講師各会場配置検討(野球事業推進委員会)
- 4月 講師派遣先通知、移動手配
- 5月12日 実施
開催規模(予定):全国47都道府県48会場、講師370名、参加児童10,000名



スポーツフェア ドリーム・ベースボール

今年度のスポーツフェアも全12会場が無事に終了いたしました。各会場におきまして、たくさんのご支援・ご協力をいただきました。関係者の皆様により感謝申し上げます。

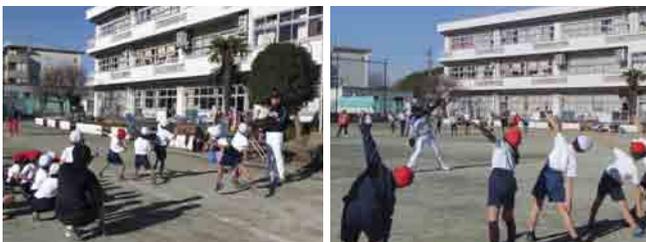


スポーツ選手活用体力向上事業

日本体育協会様より委託いただき12月10日、国分寺市立国分寺第八小学校にて、水上善雄講師(元ロッテ)が指導にあたりました。

水上講師から習ったことを守って一生懸命投げると、ボールを投げるのが苦手だった児童も、上手にボールを投げるできるようになりました。

たくさん走って、ミニゲームでバッティングもして、全校児童362名が校庭で元気いっぱい野球を楽しんだ時間になりました。



全日本野球会議

2013年1月18~20日に幕張メッセにおいて、全日本野球会議が行われました。1994年にプロ・アマが合同で結成した全日本野球会議は、アマチュア野球指導者を対象とした講習会を年1回開催しております。今年度も、1月19日に行われる野球実技講座と講演会に協力をさせていただきました。



講演会講師	伊原 春樹
投手講師	池谷 公二郎 前田 幸長
捕手講師	醍醐 猛男 定詰 雅彦
打撃講師	大熊 忠義 小早川 毅彦
守備講師	笠篠 賢治 仁志 敏久
走塁講師	屋鋪 要
バント講師	高橋 雅裕
ベースコーチ 講師	土屋 弘光

日本プロ野球OBクラブ杯

帝京大学様よりご後援いただいておりますOBクラブ杯は11月10日、11日の長崎県大会、11月18日の鹿児島県大会、そして12月1日、2日の大分県、福岡県、熊本県大会、12月2日、9日は千葉県大会を開催しました。各地では野球大会のほか、地元OBによる野球教室も好評です。



ふれあいティーボール教室

12月4日に埼玉県ふれあい地域振興事業(主催:一般社団法人埼玉県障害者スポーツ協会)の「ふれあいティーボール教室」が所沢おおぞら特別支援学校で行われ、当会から小野和幸講師(元中日)、鈴木健講師(元西武)が参加。子どもたちの「笑顔がいっぱい」のイベントとなりました。



大切な データは DVD、BD に残す

商品のプロモーション、プレゼン資料、上司・同僚へのお祝いや社内行事などの映像をDVD、BDに!

なんでもダビングサービス

DVD-R 1枚(120分)
ダビング+ blanks削除で

600 (税込) 円~

オプションも多数ございます
(ケース・盤面印刷・データフォーマット変換)
詳しくはWEBをご覧ください

キャンペーン1

DVDコピー ¥350~

キャンペーン2

**ロングタイム仕上げ
10本につき1本サービス!**

入力対応メディア: VHS, VHS-C, S-VHS, Hi8, Video8, Digital8, miniDV
出力対応メディア: DVD-VIDEO形式



●取扱テープ...

VHS, S-VHS, VHS-C,
miniDV/HDV
Hi8, Video8, Digital8
※ベータ¥1,500~

※業務用テープ(BetaCAM、DVCAM)も取扱可¥3,000~



<http://dvd.atw-plus.co.jp> 携帯からも申込みOK! 編集も承ります。詳細はお問合せ下さい。

株式会社 ATWプラス

076-443-5220

〒930-0856 富山県富山市牛島新町 4-5
エーティーワークス本社ビル
Mail : dvd-info@atw-plus.co.jp

東京ベースボールスクール

中学3年生を対象とした「東京ベースボールスクール」も本年で5回目を迎え今回は12月7日から始まり20名の選手が参加し、冒頭「分からなければ聞くこと」「新しいことを知ったら試してみること」「スクールへ参加できたことに対し親に感謝すること」など講師からの言葉を得て投手、野手部門に分かれ10回の実技指導がスタートしました。

- 東京ベースボールスクール
- ・日時：2012年12月7日（金）より10回
- ・会場：明治神宮室内球技場（東京都新宿区）
- ・指導講師：
投手部門・前田幸長、内藤尚行
野手部門・屋鋪要、鈴木健
メンタル部門・武野顕吾



前田講師からの指導を受ける参加者たち

第34回ユニセフ ハンド・イン・ハンド募金

12月23日（日・祝）、恵比寿ガーデンプレイスにて「第34回ユニセフ ハンド・イン・ハンド募金 グランドファイナーレ」が行われ、当会より森 徹（元中日）、高橋慶彦（元広島）、青島健太（元ヤクルト）、三井浩二（元西武）の各氏4名が参加しました。

公益財団法人 日本ユニセフ協会が主催するこのイベントの今年のテーマは「ワクチンで、守ろう小さな命。」です。この募金活動が一人でも多くの小さな命を救うことにつながればと思います。

元プロ野球選手4名は、青いサンタ帽をかぶり、青い募金ボックスを掲げて、各界著名人約40名の皆様と一緒に募金を呼びかけ、恵比寿ガーデンプレイスにお越しいただいた多くの皆様にご協力いただきました。ありがとうございました。



第14回 国際親善幼少児大体育祭 Kids World Apolloval

「世界の子どものための祭典」を意味する「Kids World Apolloval」。

明治神宮野球場で開催された本イベントに大矢明彦（元ヤクルト）、青島健太（元ヤクルト）、小早川毅彦（元広島）、笹篠賢治（元ヤクルト）、副島孔太（元ヤクルト）の各氏を派遣し、海外や東日本大震災の被災地から招待された子どもたちなど、ティーボールの打撃に特化した野球教室を行いました。

- 第14回 国際親善幼少児大体育祭
- Kids World Apolloval 2012 -
- ・日時：2012年11月25日（日）



キャッチボールの出来る 公園づくり事業

国土交通省が提唱した「キャッチボールの出来る公園づくり事業」を継承し本年度も3会場で親子とのキャッチボール教室が開催されました。初めてボールを握る少年少女たちに保護者を交えての指導をしました。

- 愛知県春日井市
- ・主催：岩間造園株式会社
- ・日時：2012年9月22日（土）
13:00～15:30
- ・会場：朝宮公園（愛知県春日井市）
- ・参加人数：小学生、保護者約200名
（親子100組）
- ・派遣講師：木俣達彦、三沢淳、
小松辰雄



講師によるデモンストレーション
（春日井市会場）

- 愛知県あま市
- ・主催：あま市
- ・日時：2012年10月28日（日）
10:00～12:00
- ・会場：あま市七宝焼アートビレッジ
ふれあい広場（愛知県あま市）
- ・参加人数：小学生、保護者約120名
- ・派遣講師：井上弘昭、北村俊介



ゴロの取り方の指導（あま市会場）

- 三重県四日市市
- ・主催：岩間造園株式会社
- ・日時：2012年11月3日（土）
13:30～15:30
- ・会場：北勢中央公園（三重県四日市市）
- ・参加人数：小学生、保護者約200名
（親子100組）
- ・派遣講師：木俣達彦、三沢淳、
小島弘務



ボールの握り方の指導（四日市市会場）

Sports Fan Festival in Winter

7月に引き続き「Sports Fan Festival in Winter」を開催。スポーツカードファンを対象としたカードトレーディングショーの会場で当会ブースを設け賛助会員募集活動を行った結果、28名のご入会を頂きました。

また、ステージでは横原寛己氏（元巨人）（午前）、村田兆治氏（元ロッテ）（午後）のトークショーが行われ、特設ブルベンでは、来場者の中から抽選で選ばれた方とのキャッチボールと指導、そして硬式球を使った投球を実施し、村田兆治伝家の宝刀フォークボールの連続投球など普段見られない距離でその実感を味わえるイベントとなりました。

- Sports Fan Festival 2012 in Winter
- ・日時：2012年12月16日（日）
10:00～16:00
- ・会場：東京ドームシティ プリズムホール（B）
（東京都文京区）
- ・参加講師：村田兆治、横原寛己
- ・主催：株式会社エポック社、株式会社ミント



ゴルフコンペ

関東地区での開催に続き、九州地区及び本年度初めて中国・四国地区でのゴルフを実施しました。

九州地区コンペでは、チャリティーオークション、ホールなどで得た浄財を本年よりコンペ開催地である福岡県飯塚市で毎年5月に開催される「飯塚国際車いすテニス大会」の運営経費の一部として「NPO法人九州車いすテニス協会」に寄付しました。

また、中国・四国地区コンペ開催にあたりましては、広島カープOB会、広島・双葉ライオンズクラブ、鷹の巣ゴルフクラブの全面協力を得て40組(158名)の参加を得て無事終了。チャリティーオークション、ホールなどで得た浄財は、広島県の少年少女野球振興の為に「広島・双葉ライオンズクラブ」に寄付しています。

- 第13回 九州地区日本プロ野球OBクラブ
チャリティーゴルフコンペ
- ・日時：2012年11月20日(火)
- ・会場：麻生飯塚ゴルフ倶楽部(福岡県嘉穂郡)
- ・参加人数：当会会員19名、賛助会員・一般他124名 合計143名
- ・チャリティー先：「NPO法人九州車いすテニス協会」へ150,000円
- ・飯塚国際車いすテニス大会：
<http://japanopen-tennis.com/>



九州地区：寄付金贈呈

- 第1回 中国・四国地区日本プロ野球OBクラブ
チャリティーゴルフコンペ
- ・日時：2012年12月18日(火)
- ・会場：鷹の巣ゴルフクラブ(広島県廿日市市)
- ・参加人数：当会会員25名、一般他133名 合計158名
- ・チャリティー先：「広島双葉ライオンズクラブ」へ202,500円
- ・広島・双葉ライオンズクラブ：
<http://www.futabalc.sakura.ne.jp/>



中国・四国地区：チャリティーオークションの様相

OB 会員の皆さまへお知らせ

復興特別所得税の 源泉徴収のお知らせ

平成23年12月2日に東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法が公布され、「復興特別所得税」が創設されました。

これに伴い、正会員の皆様には平成25年1月1日以降ご参加いただいた際に発生するイベント謝金につき、通常の源泉徴収税額の外に、復興特別所得税として源泉徴収すべき所得税額の2.1%相当額を併せて源泉徴収することとなりました。

すなわち所得税率10%の場合の源泉徴収すべき合計税率は10.21%となります。

※計算例(謝金33,333円をお支払いする場合)
・従来 33,333円×10%=3,333円
・平成25年1月1日より
33,333円×10.21%=3,403円(円未満切捨)

旅行傷害保険の適用を規程に 設けました

12月7日の理事会において、当振興会の「会員の報酬及び旅費規程」「役員旅費規程」に国内旅行傷害保険の適用を条文化することが決議されました。本制度は既に実施されてきておりますが、改めて規程に盛り込むこととなりました。

1. 会員(役員)が職務のため、国内を旅行するときは、この法人は当該会員を被保険者とする国内旅行傷害保険に加入し、保険料を支払います。
2. 事故が発生し、保険金の支払いが生じたときは、対象の被保険者またはその法定相続人に全額を支給します。支給に際しては、保険約款に従います。
3. 保険金額は、以下の金額を上限とします。
 - ・死亡後遺障害 3,000万円
 - ・入院保険金 1万5000円/日
 - ・通院保険 1万円/日
 保険の手続き、保険料の払い込みは、すべて事務局で行います。会員の万が一のときの備えに以上を明文化されましたので、お知らせします。

2012年度の会費納入について

正会員の会費納入についてお知らせします。会費の納入期間については、2012年6月開催の総会での定款変更により、第7条「(前略)毎事業年度の末日(3月31日)までに、会員は、総会に置いて別に定める額を支払うべき義務を負う」(下線部を変更)となりました。これは、当振興会の事業年度が公益法人への移行に伴い、事業年度を4月1日～翌年3月31日としたことに合わせたものです。

2012年度の会費納入期限は、2013年3月31日までとなっています。本年度の会費の納入がお済みでない会員には、別添の通知に従って、上記期日までにお支払いいただくようお願いします。

なお、お支払いの手間を省くために、銀行口座からの自動引き落とし(毎年4月5日)をお勧めします。詳しくは、事務局(03-3626-8911)までご相談ください。手続きに必要な書類をお送りします。

年会費の納入がない会員には、今後の会報誌などの発行物等の発送を保留する場合がありますので、ご留意ください。

特別連載 Vol.15

野球体育博物館

2006、2009WBC決勝戦ウイニングボール

野球体育博物館では現在、企画展「WBC展」を開催中(3月31日まで)です。同展の目玉として、企画展示室中央に展示しているのが今回紹介する2つのウイニングボールです。

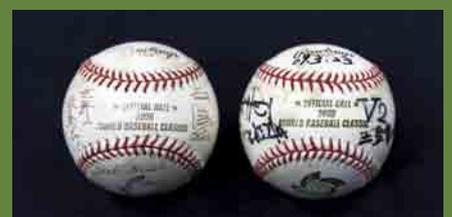
写真左は2006年の決勝戦ウイニングボールです。王貞治監督率いる日本代表は、韓国戦での連敗や、アメリカ戦でのタッチアップの判定問題など苦戦を乗り越え、失点率の差で準決勝に進出。準決勝では韓国に6-0で勝利、決勝ではキューバに10-6で勝利し、初代チャンピオンに輝きました。クローザーの大塚晶則投手がグリエル選手から三振を奪い優勝が決まった際のボールで、王監督の直筆のサインとメッセージ「世

界一 最高だ!」が入れられています。

写真右は2009年の決勝戦ウイニングボールです。原辰徳監督率いる日本代表は韓国に2敗するもキューバ、韓国に連勝し準決勝に進出、準決勝ではアメリカに9-4で逆転勝利。決勝はこの大会5度目となる韓国との対戦で、延長10回の激戦を制し、2大会連続優勝を達成しました。クローザーのダルビッシュ有投手が鄭銀宇選手から最後のアウトを三振で奪った際のボールで、原監督の直筆サインとメッセージ「V2王監督に続いた!!」が入れられています。

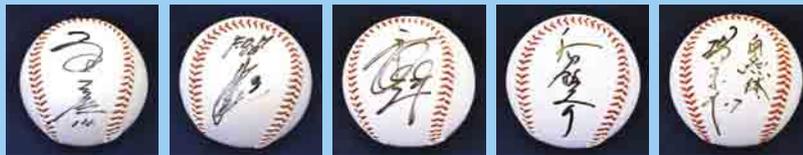
それぞれNPBのスタッフに収集いただき、チームの帰国直後から当博物館の展示に加わりました。この他、優勝トロフィーやユニホーム、選手使用用具をは

じめ多数の資料をご寄贈いただいております。今回の企画展でも展示しています。今大会でもNPBのご協力をいただき、こうした資料の収集を行い、ファンの皆様にご覧いただきたいと考えています。



プレゼント コーナー

オリジナル
直筆サインボール
各1個 (合計5名様)



外木場義郎さん 佐々木誠さん 三井浩二さん 千田啓介さん 横原寛己さん

【応募方法】

ご希望の方は、葉書に住所、氏名、年齢、電話番号、ご希望のOB名、OBクラブへのご意見・ご要望などを明記の上、下記の宛先までご応募ください。締め切りは、3月1日(当日消印有効)。当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。

〒130-0012
東京都墨田区太平 4-13-2
太平サクラビル 2階
公益社団法人全国野球振興会
「OB NEWS Vol.56 プレゼント」係

活動報告 2012年10月~12月

10月		
日にち	行事名(事業名)・場所	
3日(水)	スポーツ選手活用体力向上事業	白浜町立富田小学校 (和歌山県白浜町)
5日(金)	スポーツ選手活用体力向上事業	富山市立山田小学校 (富山県富山市)
7日(日)	近畿地区ブロック会議	大阪国際会議場 (大阪府大阪市)
8日(月)	SPORTS FAN FESTIVAL in SHIBUYA	ミント渋谷店 (東京都渋谷区)
	2012技術セミナーII 期近畿地区	大阪国際交流センター (大阪府大阪市)
9日(火)	スポーツ選手活用体力向上事業	富士河口湖町民運動場 (山梨県富士河口湖町)
	第2回震災支援プロジェクト会議 第3回BCSプロジェクト会議	当会 (東京都墨田区)
10日(水)	全日本野球会議、技術指導委員会 指導者育成委員会	ジャパンベースボールセンター会議室 (東京都千代田区)
12日(金)	スポーツ選手活用体力向上事業	長島町立獅子島小学校 (鹿児島県長島町)
15日(月)	第19回日本プロ野球OBクラブ ゴルフコンペ	東松山カントリークラブ (埼玉県東松山市)
19日(金)	第9期全日本野球会議第1回委員会	当会 (東京都墨田区)
24日(水)	スポーツ選手活用体力向上事業	三浦市立三崎小学校 (神奈川県三浦市) 高槻市立桃園小学校 (大阪府高槻市)
26日(金)	スポーツ選手活用体力向上事業	豊岡市立八代保育園 (兵庫県豊岡市) 和歌山市立鳴滝小学校 (和歌山県和歌山市)
27日(土)	スポーツ選手活用体力向上事業	那須甲子少年自然の家 (福島県西郷村)
28日(日)	キャッチボールのできる公園づくり スポーツフェア⑧	あま市七宝焼アートビレッジ (愛知県あま市) 王子原運動公園野球場 (宮崎県えびの市)

11月		
日にち	行事名(事業名)・場所	
3日(土)	キャッチボールのできる公園づくり	北勢中央公園 (三重県四日市市)
4日(日)	スポーツフェア⑨	花巻球場 (岩手県花巻市)
5日(月)	第9期野球事業推進委員会第3回全体会議	墨田区総合体育館 (東京都墨田区)
6日(火)	公益財団法人日本体育協会 公認コーチ養成講習会	志太スタジアム (静岡県伊豆市)
	四国アイランドリーグPlusAWARD2012	全日空ホテルクレメント高松 (香川県高松市)
9日(金)	スポーツ選手活用体力向上事業	蓮田市立黒浜小学校 (埼玉県蓮田市) 鹿ヶ崎市立北文間小学校 (茨城県鹿ヶ崎市) 厚木市立緑ヶ丘小学校 (神奈川県厚木市)
10日(土)	元プロ野球選手技術指導講習会	明石公園第一野球場 (兵庫県明石市) 東北福祉大学 野球場 (宮城県仙台市)
	OBクラブ杯(長崎)	西諫早中学校グラウンドほか (長崎県諫早市)
	OBクラブ杯(長崎)	長崎県営野球場 (長崎県長崎市)
11日(日)	元プロ野球選手技術指導講習会	東北福祉大学 野球場 (宮城県仙台市) 長良川球場 (岐阜県岐阜市) 出雲商業高校 野球場 (島根県出雲市)
	スポーツフェア⑩	呉市二河野球場 (広島県呉市)
12日(月)	スポーツ選手活用体力向上事業	市川市立東国分中学校 (千葉県市川市) 亀山市立昼生小学校 (三重県亀山市)
13日(火)	長野銀行 講演会	長野銀行 本店ホール (長野県松本市)
14日(水)	スポーツ選手活用体力向上事業	北区立谷端小学校 (東京都北区)
	スポーツ選手活用体力向上事業	宍粟市立道谷小学校 (兵庫県宍粟市)
15日(木)	平成24年度第4回常務理事会	KFC ホール (東京都墨田区)
	第9期コンプライアンス委員会第1回会議	KFC ホール (東京都墨田区)
17日(土)	牛嶋木選手 10周年記念パーティー	浅草ビューホテル (東京都台東区)
18日(日)	OBクラブ杯(鹿児島)	鹿児島玉龍高校 (鹿児島県鹿児島市)

11月		
日にち	行事名(事業名)・場所	
20日(火)	スポーツ選手活用体力向上事業	八尾市立南高安小学校 (大阪府八尾市)
	第13回九州地区 日本プロ野球OBクラブチャリティゴルフコンペ	麻生飯塚ゴルフ倶楽部 (福岡県嘉穂郡桂川町)
21日(水)	香川オリブガイナース 2012シーズン御礼報告会	高松国際ホテル (香川県高松市)
23日(金祝)	元プロ野球選手技術指導講習会	赤穂城南緑地公園野球場 (兵庫県赤穂市)
25日(日)	スポーツフェア⑪	アークバリアベースボールパーク志度 (香川県さぬき市)
	Kids World Apolloval	明治神宮野球場 (東京都新宿区)
26日(月)	スポーツ選手活用体力向上事業	那珂川町立安徳北小学校 (福岡県那珂川町) 江津市立江津東小学校 (島根県江津市)
27日(火)	第9期野球事業推進委員会 野球指導者養成認定制度事業 第1回プロジェクト会議	当会 (東京都墨田区)
29日(木)	スポーツ選手活用体力向上事業	小平市立小平第八小学校 (東京都小平市)

12月		
日にち	行事名(事業名)・場所	
1日(土)	OBクラブ杯(熊本、福岡、大分)	熊本県民総合運動公園ほか (熊本県熊本市) 宮竹中学校ほか (福岡県福岡市) 平成の森野球場ほか (大分県宇佐市)
	2012技術セミナー IV期関東地区:1日目	墨田区総合体育館 (東京都墨田区)
2日(日)	OBクラブ杯(福岡、熊本、千葉、大分)	雁の巣球場 (福岡県福岡市) 熊本県民総合運動公園 (熊本県熊本市) 松戸第一中学校ほか (千葉県松戸市) 平成の森野球場 (大分県宇佐市)
	スポーツフェア⑫	栃木市総合運動公園野球場 (栃木県栃木市)
	元プロ野球選手技術指導講習会	水戸市民球場 (茨城県水戸市)
4日(火)	埼玉県ふれあい地域振興事業 「ふれあいティーボール教室」	埼玉県立所沢おおぞら特別支援学校 (埼玉県所沢市)
6日(木)	スポーツ選手活用体力向上事業	豊中市立克明小学校 (大阪府豊中市)
	平成24年度第4回理事会	KFC ホール (東京都墨田区)
	東京ベースボールスクール(1回目)	明治神宮室内球技場 (東京都新宿区)
9日(日)	2012技術セミナー IV期関東地区:2日目	墨田区総合体育館 (東京都墨田区)
	OBクラブ杯(千葉)	松戸第一中学校 (千葉県松戸市)
10日(月)	スポーツ選手活用体力向上事業	大牟田市立延命中学校 (福岡県大牟田市) 国分寺市立国分寺第八小学校 (東京都国分寺市)
11日(火)	スポーツ選手活用体力向上事業	瑞穂町立瑞穂第四小学校 (東京都瑞穂町)
14日(金)	第9期コンプライアンス委員会第2回会議	永楽倶楽部 (東京都港区)
	東京ベースボールスクール(2回目)	明治神宮室内球技場 (東京都新宿区)
15日(土)	元プロ野球選手技術指導講習会	生目の社「はんびドーム」アリーナ (宮崎県宮崎市)
	Sports Fan Festival 2012 in Winter	東京ドームプリズムホール (東京都文京区)
16日(日)	元プロ野球選手技術指導講習会	魚津山運動公園 屋内グラウンド (富山県魚津市)
	全国アマチュア野球指導者講習会	横浜 DeNA ベイスターズ 室内練習場 (神奈川県横浜須賀野)
18日(火)	第1回中国・四国地区 日本プロ野球OBク ラブチャリティゴルフコンペ	鷹の巣ゴルフクラブ (広島県廿日市市)
21日(金)	第9期野球事業推進委員会 野球指導者養成認定制度事業 第2回プロジェクト会議	当会 (東京都墨田区)
	東京ベースボールスクール(3回目)	明治神宮室内球技場 (東京都新宿区)
23日(日)	第34回ユニセフ ハンド・イン・ハンド募金	恵比寿ガーデンプレイス (東京都渋谷区)
26日(水)	アミティエ・スポーツクラブ野球教室	亀岡運動公園 (京都府亀岡市)

会員情報

■新入会員一覧

氏名	球団	年齢	ポジション
山本 翔	広島	29	捕手
本東 洋	オリックス	45	投手
岡上 和典	広島	34	内野手
藤井 秀通	近鉄	62	捕手
西川 雅人	オリックス	30	投手

■訃報 謹んでお悔やみ申し上げます。

氏名	代表出身球団	逝去日	享年	生年
高木 喬	西鉄	2012年11月25日	73	1940

編集・発行人:公益社団法人全国野球振興会(日本プロ野球OBクラブ) URL:www.obclub.or.jp E-mail:info@obclub.or.jp



公益社団法人全国野球振興会
(日本プロ野球OBクラブ)

本部事務局:〒130-0012 東京都墨田区太平4-13-2 太平サクラビル2階
TEL:03-3626-8911 FAX:03-3626-8912

[事務局より]住所変更の際は、お手数ですが上記事務局までお知らせください

編集協力
株式会社アジタル・アド・サービス
発行日:2013年1月



Daiwa House®

大和ハウスグループ

共に創る。共に生きる。

大和ハウスグループは、

グループシンボル「エンドレスハート」に

お客様と私たちの永遠の絆と

私たちグループの連帯感を託しました。

人・街・暮らしの価値共創グループとして、

私たちは社会に新しい価値を築いてまいります。

大和ハウス工業株式会社

www.daiwahouse.co.jp

「エルセ」で変わる! e-みず に変わる!!

「e-みず」は世界初の抗酸化ウォーターです!!

1. 配管
サビ・汚れを除去し、配管を延命。排水管の悪臭も軽減。

2. 台所
シンク・排水口のヌメリを除去し、カルキ臭も緩和。

3. トイレ
便器・タンクへの汚れの付着を抑制。悪臭も緩和。

e-みず (エルセ水) が日常生活をサポート!

ヌメリ・汚れが 掃除の回数。 洗剤使用量。 **減!**

え-みず さらにつきにくくなる

4. 洗濯
繊維への浸透力が増し、洗浄力アップ。洗剤の使用量削減も。

5. お風呂 / 洗面所
浴槽・排水口のヌメリを除去。

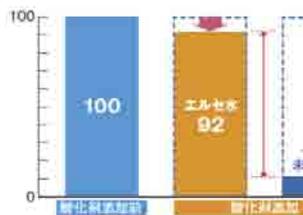
6. 浄化槽
微生物が分解作用をサポート。メンテナンス負担が低減。

7. エコキュート
熱交換器へのサビ・スケール付着を抑制。熱交換率を高め、消費電力を軽減。

宮崎大学医学部（丸山眞杉教授）との共同研究結果

エルセを設置する事で、全ての蛇口で抗酸化水が利用できます。

■エルセで処理することで水の抗酸化力が向上し、細胞への酸化ストレスが抑制された研究データが、宮崎大学医学部との共同研究により、第83回日本生理学会で発表されました。



細胞生存数に大きな差!

★酸化剤添加前の生細胞数を 100 とした場合の比較
★培地作成用水に未処理水とエルセ水を使用して試験
★未処理水では酸化剤を添加することで細胞がほぼ死滅したが、エルセ水では約9割が生存
※宮崎大学医学部機能制御学応用生理分野 丸山眞杉教授との共同研究成果
※試験データは分かりやすいよう修正しています

未来を担う子どもたちのために...

当社は社会活動の一環として、全国で開催される野球教室におきまして **ELCE** 関連商品「エルセの実」を無償配布しております。



■ご家庭向け商品のご案内



■家庭用エルセ SHW型
(水道元付けタイプ)



■シャワータイプ
SH-01型



(製造元) **日本治水株式会社**

〒880-1301 宮崎県東諸県郡綾町大字入野4409番地6

フリーダイヤル **0120-39-1132**

サンキュー イイミズ

URL <http://www.n-jisui.co.jp>

エルセ

検索

納入実績例

官公庁関係・財団法人日本道路公団・地方自治体・JR西日本旅客鉄道 株式会社・阪、海、空自衛隊・JR九州旅客鉄道 株式会社・医療関係(歯科病院・人工透析関係) トヨタ自動車 株式会社・一般家庭・その他多数